

米海軍イージス艦ヒギンズの入港拒否を

日本共産党市議団が名古屋港管理組合に申し入れ（9月3日）

米軍艦船イージス艦ヒギンズが9月4日（水）9時に名古屋港弥富ふ頭7号岸壁に入港するとの情報が入りました。目的は、「親善・友好」とされていますが、入港予定が公表されたのは入港一日前です。これではとても友好・親善が目的の寄港とは思えません。米軍言いなりの情報統制と軍艦入港に強く抗議するものです。


名古屋港への米軍艦船の入港は2010年11月以来です。折しもシリアへの米国の軍事介入の動きについて世界中が慎重な行動を求めています。

港湾管理者が、米軍艦に対し核兵器搭載の有無を確認することなく名古屋港への入港を許可したことに強く抗議し、下記の申し入れを行いました。



米イージス艦の入港拒否を申し入れる、山口清明市議、わしの恵子市議

米海軍イージス艦 ヒギンズ（アーレイ・バーク級ミサイル駆逐艦USS-Higgins, DDG-76）

	<ul style="list-style-type: none"> ・1997年10月4日進水 ・1999年4月24日就役 	諸元 <ul style="list-style-type: none"> ・長さ153.9m ・幅20.1m ・喫水9.4m ・排水量8,776トン ・ガスタービン4基2軸 ・速力31ノット ・航続距離4,400海里 ・乗員337名 	兵装 <ul style="list-style-type: none"> ・54口径5インチ単装砲x1 ・25ミリ単装機関砲x2 ・M2重機関銃x4 ・ファランクスx2 ・SSM（対艦ミサイル）4連装発射筒x2 ・VLS（垂直発射）装置x90セル アスロック、トマホークなど発射可能 ・3連装短魚雷発射筒x2
	<ul style="list-style-type: none"> ・母港 サンディエゴ 海軍基地 		

名古屋港管理組合
管理者 大村秀章様

2013年9月3日
日本共産党名古屋市議員団
団長 わしの恵子

米軍艦ヒギンズ(HIGGINS)の名古屋入港に対する抗議と申し入れ

カルフォルニア州サンディエゴを母港とするアメリカ海軍のイージス艦ヒギンズ(HIGGINS・8230t)が親善・友好を目的に明日、9月4日に名古屋港に入港し7日まで停泊する、弥富ふ頭7号岸壁を使用するとの情報を受けた。

しかし入港予定が公表されたのは入港一日前であり、その時点で入港中の行事すら明らかではない。これではとても友好・親善が目的の寄港とは思えない。米軍言いなりの情報統制と軍艦入港に強く抗議する。

名古屋港への米軍艦船の入港は2010年11月以来であるが、商業港である名古屋港で米軍による軍事利用の既成事実を積み重ねることは容認できない。

管理組合は「軍艦の入港についても一般の船舶と同様に対応する」としているが、ならばなぜ米艦船に限り入港予定を直前まで秘密にするのか。「米国領事館から入港24時間前しか公表しないように要請されている」というが、港湾管理者の責任で入港の打診があった段階から公表している港も少なくない。

四日市港は「米軍艦船入港対応マニュアル」を作成し、入港3週間前には議会にも報告し、1週間前には県民市民に広報すると定めている。

小樽港では港湾管理者である市長の名で、外務省及び在札幌米国総領事館に核兵器搭載の有無を文書で紹介し、返事も受け取っている。また入港希望の一か月以上前、連絡

があった時点で、議会各党派、港湾関係団体及び報道機関に情報を公表している。名古屋港のアメリカ追従、秘密主義はもはや許されない。

そして米国が現在でも核兵器の存在を否定も肯定もしない政策を堅持している以上、非核三原則を国是とするわが国で入港希望の米軍艦船に非核証明を求めるのは当然である。しかし残念ながら今回の入港に際しても、核兵器搭載の有無を文書で確認した形跡はない。

折しもシリアへの米国の軍事介入の動きについて世界中が慎重な行動を求めている時である。国際社会の中でも日本の米国追従の突出ぶりは際立っている。

港湾管理者が、米軍艦に対し核兵器搭載の有無を確認することなく名古屋港への入港を許可したことに強く抗議するとともに、下記のとおり申し入れる。

記

1. 米軍艦船の入港については、その情報を広く早く公開し、議会にも入港の是非について判断を仰ぐこと。また非核証明の提出を義務づけ、提出がない艦船の入港はきっぱりと拒否すること。
2. 「非核名古屋港」を宣言し、港を軍事利用させない意思を明確にすること。
3. 日本国憲法を厳守し、とりわけ憲法9条の不戦・平和の精神をあらゆる港湾行政に貫くこと。